

議 事 日 程

令和8年7月2日(木)
午前10時開議

諸般報告

日程第1 第47号議案から第56号議案まで(10件) および報告第21号から報告第42号まで(22件)

(各議案に対する質疑および県政全般にわたる質問)

日程第2 請願について

発 言 者

発 言 順 序

- (1) 田 中 宏 典 議 員
- (2) 山 岸 みつる 議 員
- (3) 時 田 和一良 議 員
- (4) 西 本 恵 一 議 員
- (5) 三田村 輝 士 議 員
- (6) 渡 辺 大 輔 議 員
- (7) 細 川 かをり 議 員
- (8) 福 野 大 輔 議 員

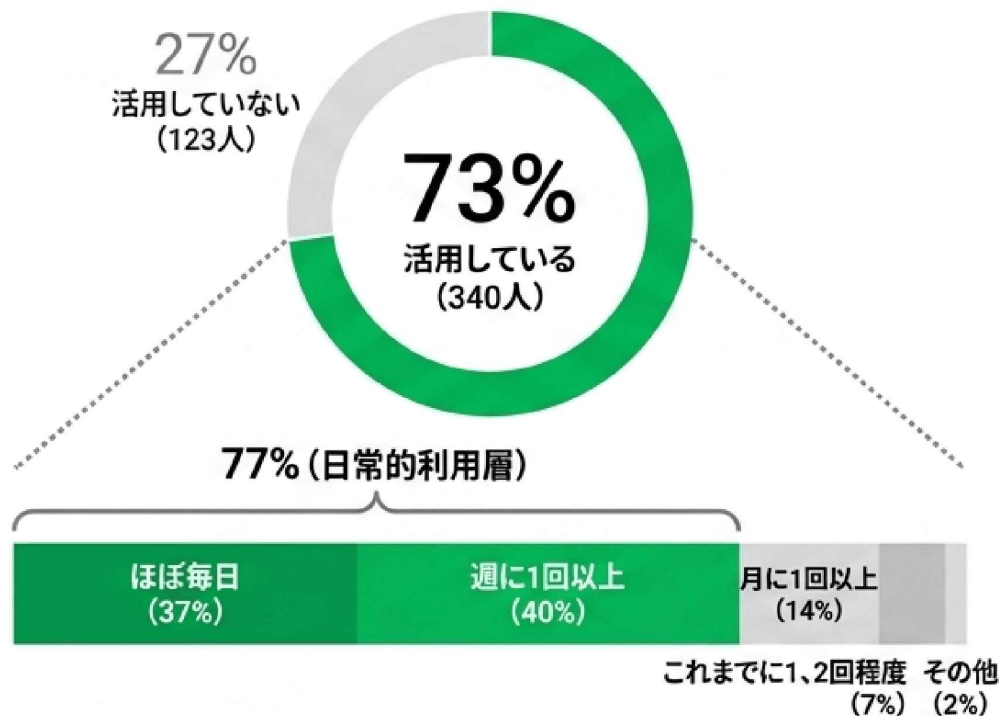
第443回定例会一般質問発言通告一覧(2日目)

7月2日(木)

会派名	氏名	説明を求め る者の職・氏名	発言要旨	質問 時間帯	TV放映 時間帯
自民党 福井県議会	田中宏典 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 新たな政策方針と人口減少対策について 2 長期ビジョンと実行プランについて 3 原子力政策について 4 その他	10:00 10:40	
ふくいの党	山岸みつる 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 AIと県政～福井県の方針 2 AIと行政～県庁の業務改革 3 AIと行政～市町の課題と県の役割 4 AIと産業～人の不足と余剰、地方の価値 5 AIと教育～子ども・先生の現状と課題 6 AIと組織～人身体制と情報集約 7 AIと電力～核融合エネルギー 8 AIと人間～人の造りしもの 9 その他	10:40 11:20	
自民党 福井県議会	時田和一良 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 物価・資材価格高騰下における公共工事のあり方について 2 福井県の空き家対策と物価高騰時代における住宅政策に ついて 3 地域公共交通と高齢者の移動確保について 4 その他	11:20 12:00	
休 憩 (60分)					
公明党	西本恵一 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 世界があこがれる福井について 2 避難所運営について 3 福井県海岸保全基本計画改定について 4 県営住宅の保証人について 5 その他	13:00 13:40	
民主 みらい	三田村輝士 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 手話施策の推進と共生社会の実現について 2 使用済燃料対策ロードマップの実効性について 3 カスハラ対策について 4 その他	13:40 14:20	
民主 みらい	渡辺大輔 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 義務教育における市町間格差～保護者の教育費負担～ 2 義務教育における市町間格差～教員の負担～ 3 福祉と教育の連携による子ども支援 4 介護サービスの圏域格差とサービスの一極集中 5 その他	14:20 15:00	
休 憩 (15分)					
越前若狭の会	細川かをり 〔分割〕	知事および 関係部局長	1 原子力政策について 2 中山間地域の課題や緊急銃猟について 3 安心安全な地域づくりについて 4 中東情勢の県内への影響と対策 5 その他	15:15 15:55	
自民党 福井県議会	福野大輔 〔一括〕	知事および 関係部局長	1 人口減少対策について 2 その他	15:55 16:35	

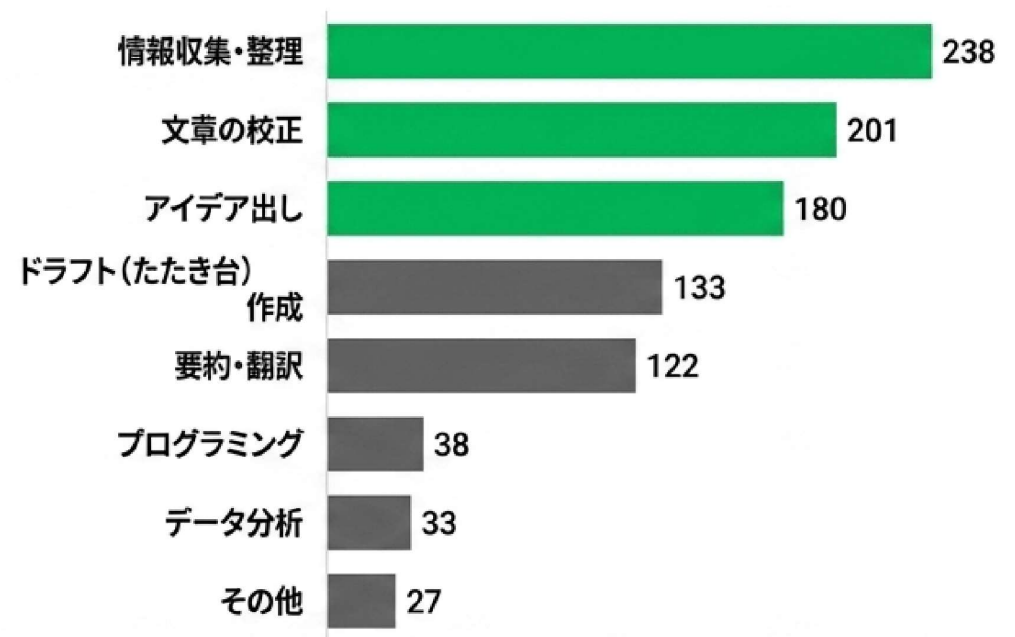
生成AI:県職員の7割超が活用 3割弱が未活用

組織への浸透度と日常化



利用者の約8割が、もはや『週1回以上』の日常的ツールとして使いこなしている。日々のよくある業務から、確実なAI化が進行中。

主要な活用領域と具体的な変化



単なるリサーチや校正ツールにとどまらず、『アイデア出し』や『ドラフト作成』に積極的に活用されている。AIをプレストや壁打ちの相手とすることで、新たな価値とアイデアを創出する強力なエンジンとして機能している。

データ: 令和8年2月・福井県庁職員の生成AI利用アンケート結果
図解: データを基にNotebookLMで図を生成

2040年 職種別就業構造推計：首都圏と福井県のミスマッチ比較分析

資料2

首都圏（1都3県）で発生する雇用余剰に対し、福井県が特に「専門職」の受け皿として機能する客観的構造

	首都圏（1都3県）		福井県
2040年合計ミスマッチ数	+193.3 (大幅な余剰)	広域移動のポテンシャル	-1.3 (不足)
専門職ミスマッチ数	+8.4 (余剰)	需給の完全な一致 <small>首都圏の専門職余剰が、福井県の専門職不足を直接的に補充する構造。</small>	-1.3 (不足)
事務職ミスマッチ数	+182.6 (大幅な余剰)	双方で余剰傾向	+2.3 (余剰)
現場人材ミスマッチ数	-1.6 (不足)	双方で不足傾向	-1.9 (不足)

参照：2040年の就業構造推計(改訂版・経済産業省・26年3月)を基に山岸が分析・整理

【データ分析サマリー】

推計データによれば、2040年に首都圏全体で生じる約193のミスマッチ（余剰）に対し、福井県は全体として労働力不足（-1.3）の状況にある。職種別に見ると、首都圏で顕著な余剰となる「専門職（+8.4）」は、福井県が抱える「専門職不足（-1.3）」と需給の方向性が完全に一致しており、福井県が首都圏の専門職人材の受け皿となる客観的・構造的なチャンスが高いことが示されている。

「次世代の授業に向けた先進的な学び」モデル校の羽水高で生成AIを活用した数学、公民、国語の公開授業が行われた。選挙の当確判定、株価予測などを題材に、生徒各自が生成AIを活用し、思考のキャッチボールや考えを深める材料に使った授業例を紹介した。

普通科2年の数学は「開累率0%の段階で報道機関が当確を出すには、どれくらいの出口調査数が必要か」を題材にした確率の授業で、生徒がいったんまとめた考察を生成AIに投げかける手順をとった。竜田和樹教諭は「数学は解法を学び答えがあっているか、という学習になりがちだが、統計用語の意味や役割、数値の変化が示す意味など、統計の概念も含めて深く理解してもらいたい」と授業をデザインした」と話し

羽水高、生成AI授業公開

公民など3教科 思考や視野広げる活用



た。生徒が活用した教育用AIは、質問に答は示さず、思考を深める質問を返すように竜田教諭が事前設定。「生徒の質問のレベルや内容に応じて生成AIの返答が

変わるようにした。従来の授業の良さを残しながら個別最適な学習を実現する活用を目指した」と話した。生徒が記入した質問などはリアルタイムで竜田教諭も把握。授業の進行に役立てる

生成AI活用を実践紹介した教員対象の公開授業＝1月27日、羽水高



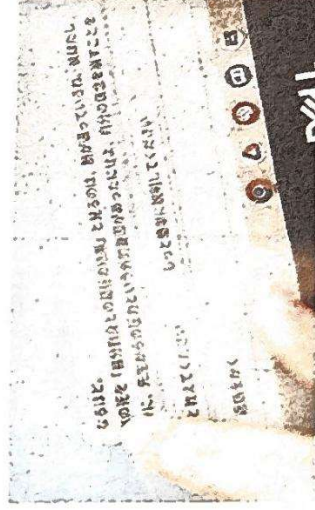
生成AIの意見を元にグループで話し合う生徒

ほか「振り返りは取りまとめ次の授業の参考に。それは教員の役割とした。株価変動予測の公民の授業では社会情勢や企業名など、生徒の知識が不足する部分はAIが知らせる設定に。国語教科では夏目漱石の「こころ」を読んで生徒が作成したレポートに、抜け落ちている視点がないかを生徒自身が生成AIに投げかけた。生成AIが示した視点はつのみならず、改めて作品を読むと自分でも腹に落とし手順を踏むなど、「原本に立ち戻る基本は重視した展開とした。県教委によると、生成AIは生徒の美生活に浸透し

てきており、「生徒それぞれの考え方や理解度に合わせ考えを示してくれるなど個別最適な学習に向くメリットがある。教員の個別指導の補助にもなり、効果的な活用法を探っていきたい」としている。

公開授業を含む報告会には高校教員や県教委職員など約40人が出席した。青山学院講師の安藤昇さんが最新のAIと使い方を紹介。「最新のAIはAI自身が考えてくれるため、命令ではなく相談形式がいい」とアドバイスし、この日の授業を最新AIで実践した例を紹介した。

(須野昭彦)



生徒と「対話」する生成AIの画面

建設資材高騰・労務費上昇と公共事業関係予算の現状 (R3~R8)



建設資材の高騰

○世界的な価格高騰の影響を受けて、建設工事の資材価格が **43%上昇**

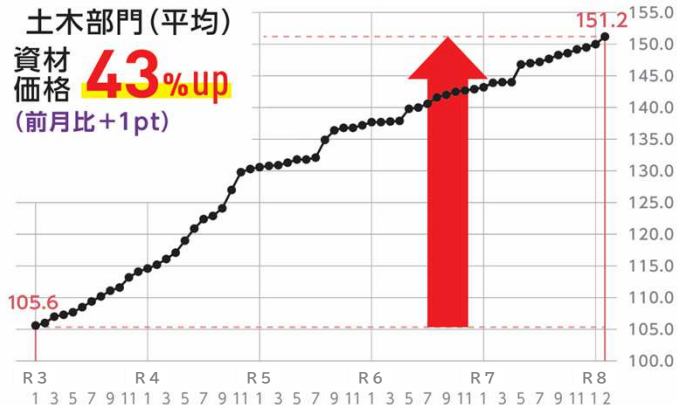


図1 R3年1月~R8年2月の建設資材物価指数(東京)の推移

材料費割合を60%と仮定すると…
この5年で、全建設コスト(平均)を **25.8%上昇**させる要因

※日本建設業連合会「建設資材高騰・労務費の上昇等の現状(2026年3月版)」より抜粋

労務費の上昇

○「公共工事設計労務単価」は、R3年に比べ **27.8%上昇**

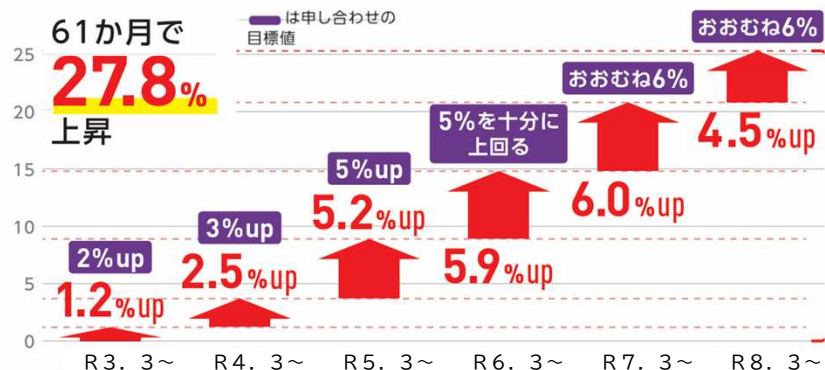


図2 公共工事設計労務単価(単純平均)の引上率の推移

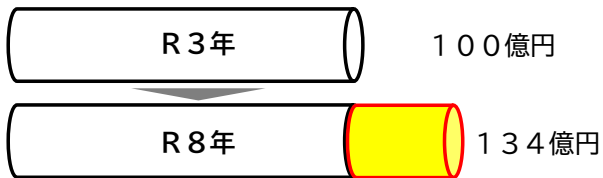
労務費割合を30%と仮定すると…
この5年で、全建設コスト(平均)を **8.3%上昇**させる要因

※日本建設業連合会「建設資材高騰・労務費の上昇等の現状(2026年3月版)」より抜粋

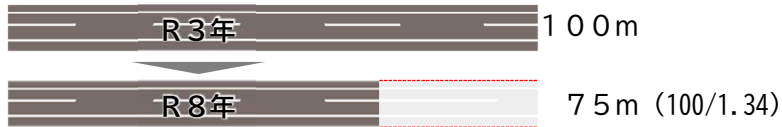
全建設コストの上昇

○資材、労務を加味すると全建設コスト(平均)は **約34%上昇** (推定)

【例】R3年に100億円を要した事業を、R8年に同規模で実施するには **134億円必要**



【例】R3年に100m整備した事業を、R8年に同額予算で実施する場合 **75mに留まる**



公共事業関係予算の現状

○公共事業関係予算の内、当初予算は **横ばい**

(単位: 兆円)



図3 R3年度~R8年度の公共事業関係予算(国費)の推移

※国土交通省「令和8年度予算概要」より作成



出典：Google マップ



305号線沿いの海岸に高潮



305号線沿いの家屋に波が押し寄せる

電化の家庭が多く、1世帯1栽培も楽しめる。ぜひ家庭に植え付けた。1〜2カ月」と話した。

(中村真理) 発足。市内の事業所・機関

緊急銃猟「情報共有が重要」

クマ出没想定 越前市で県訓練

クマが市街地に出没した際に自治体の判断で発砲を認める「緊急銃猟」を想定した県の対応訓練が21日、越前市錦町の日野川河川敷などであった。県や各市町、県警などの関係者約90人が参加。役割分担や人員の配置、発砲時の安全確保の手段を確認し、関係機関の連携を強化した。

(畠中 大介)

訓練は、車を運転中の人
が市街地近くの日野川河川
敷で成獣1頭を自撃し、1
時間後に同所で寝ていると
ころをパトロール中の市職
員が見つけたとの想定。関
係機関との連絡体制や住民
への周知、人員の配置など
を確認する机上訓練の後、
実地訓練を行った。

越前市の職員を中心に、
県職員の助言や支援を受け
て本番さながらに実施。県
内の訓練では初めて自治体

が所有するドローンを導入
し、県と越前市の2台を飛
ばして職員が扮したクマが
潜伏する場所を探した。

河川敷左岸の茂みに潜む
クマを発見した後は、屋内
避難の呼びかけや通行制
限、発砲する場所を決める
など緊急銃猟に向けた流れ
を確認。証票(ゼッケン)
を着けた捕獲隊員が現場に
向かい、20〜30分離れたク
マに模擬銃を向けて発砲す
る動作を取った。参加者は

死んだことを確かめるまで
の動きを緊張感を持って取
り組んでいた。

訓練の後の講評では、参
加者たちから「茂みが多く
目視するのが難しい状態だ
った」「情報共有がうまく
できていなかった」など課
題を指摘する声が上がった。
実地訓練の現場指揮を
担当した市農林整備課の小
嶋雅則課長は「情報共有が
非常に重要だと感じた。関
係機関と日頃から「コミュニ
ケーションを取っておくこ
とで、実際の場面でも連携
できると思う」と話した。

県によると、昨年度の県
内のクマ出没件数は950
件で、過去5年間で最多と
なった。



訓練で模擬銃を使って緊急銃猟を実施する捕獲隊員。越前市錦町で

補助資料②

一般質問補助資料 細川かをり



補助資料③
一般質問補助資料
細川かをり



第443回定例会議案付託表

【知事提出議案】

議案番号	件 名	付託委員会名
第47号議案	令和8年度福井県一般会計補正予算（第2号）	予算決算
第48号議案	福井県核燃料税条例の制定について	総務教育
第49号議案	福井県県税条例および福井県県税条例等の一部を改正する条例の一部改正について	総務教育
第50号議案	福井県一時保護委託者の登録等の基準に関する条例の制定について	厚生
第51号議案	福井県認定こども園の認定の要件に関する条例等の一部改正について	厚生
第52号議案	福井県地域未来基金条例の制定について	産業
第53号議案	外郭団体の健全な運営の確保を図るための議会のかかわり方を定める条例および地方自治法施行令第152条第1項第3号の規定による知事の調査等の対象となる法人を定める条例の一部改正について	産業
第54号議案	県有財産の取得について	厚生
第55号議案	福井県漁業資源調査船「福井丸」代船建造工事請負契約の変更について	産業
第56号議案	専決処分につき承認を求めることについて （令和8年度福井県一般会計補正予算（第1号））	予算決算

第443回 定例会 請願文書表

福 井 県 議 会

受理番号	件名 【紹介議員】	付託 委員会
請願第16号	殺傷能力のある武器の輸出撤回を求める意見書の提出に関する請願 【三田村輝士、中村綾菜】 (請願項目) 1 政府に対し、殺傷能力のある防衛装備品の輸出を可能とする方針を撤回し、平和国家としての理念を堅持するよう求める意見書を提出すること。	総務教育

殺傷能力のある武器の輸出撤回を求める意見書の提出に
関する請願

1 趣 旨

政府は現在、防衛装備移転三原則の運用方針を改定し、防衛装備移転の「5類型」による制限の撤廃等により殺傷能力のある武器の輸出を容認する方針を進めている。しかし、日本がこれまで歩んできた平和国家としての歩みや、憲法の平和主義の理念を鑑みれば、紛争を助長しかねない武器輸出の拡大には強い懸念を抱かざるを得ない。

武器輸出は、日本の製造した兵器が他国の人命を奪うために使用される可能性を意味する。これは国際的な緊張を緩和する立場にある日本の外交的信頼を損ない、憲法の恒久平和主義に基づいた平和国家としての日本のありようを、根本的に掘り崩すものになる。

以上により、貴議会において、政府に対し「殺傷能力のある武器輸出の方針を撤回すること」を求めるため、下記事項について請願する。

記

政府に対し、殺傷能力のある防衛装備品の輸出を可能とする方針を撤回し、平和国家としての理念を堅持するよう求める意見書を提出すること

2 提 出 者
西村理

3 紹 介 議 員
三田村輝士、中村綾菜

4 受理年月日
令和8年6月22日